TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA
レグザブルーレイ

東芝ブルーレイディスクレコーダー取扱説明書

形名 **DBR-T360**
DBR-T350

地上・BS/110度CSデジタルハイビジョンチューナー内蔵
ブルーレイディスクレコーダー





お客様登録サービス「Room1048（ルームトウシバ）」に登録をお願いします！

Room1048は東芝デジタル商品のお客様登録サービス※です。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。
※ お客様登録は、Web限定のサービスです。
>>> ご登録はこちらから！ <<<
http://toshibadirect.jp/room1048/

※キャンペーン情報も
こちらをご覧ください。

- 電源を「入」にしたとき
電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- **本機の操作で「わからない」「困った！」そんなときは…**
「困ったときは」操作編 114**、「総合さくいん・用語解説」操作編** 129
をご覧ください。

ネットdeナビ編

- 必ず最初に取扱説明書（準備編）の「安全上のご注意」 4 ～ 7 をご覧ください。
- このたびは東芝ブルーレイディスクレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのブルーレイディスクレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

もくじ

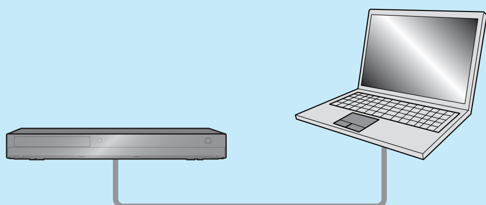
ネット de ナビについて

「ネット de ナビ」とは、パソコンの Web 画面で本機の操作や設定などができる機能です。
ブロードバンド常時接続の環境であれば、e メールで外出先などから録画予約をすることもできます。本機では、「録画予約」と「録画予約の変更」、「録画予約の確認」ができます。

ネットdeナビでできること

パソコンで録画予約

パソコンで本機を操作し、録画することができます。



e メールで録画予約

外出先などから e メールで録画予約することができます。



※ ブロードバンド常時接続環境が必要です。

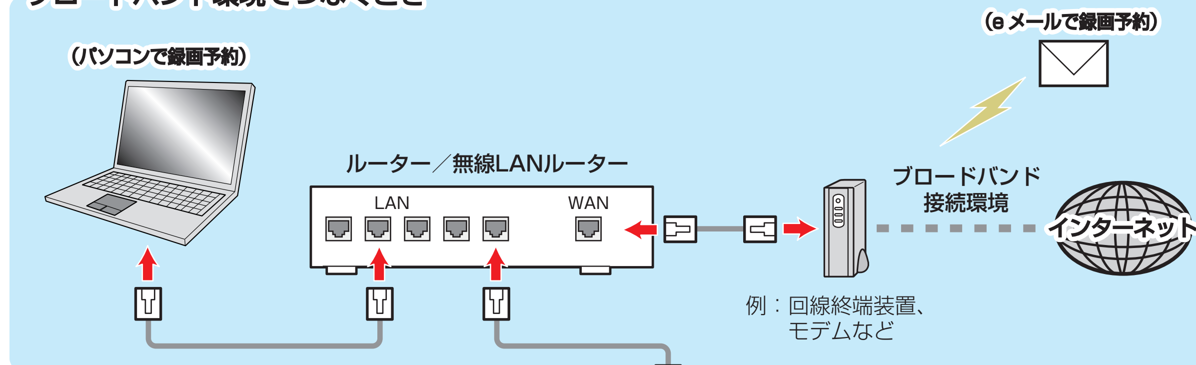
ネットワークとつなぐ

用途やお客様のネットワーク環境によって、接続や設定方法が異なります。下図を確認しながら接続や設定をしてください。

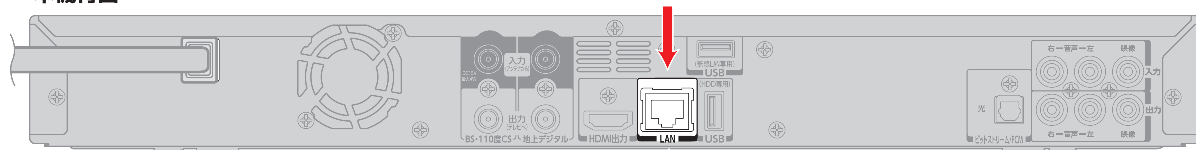
ブロードバンド常時接続環境がないと、e メールで録画予約することができません。

LANケーブルを使って接続する

ブロードバンド環境でつなぐとき



本機背面



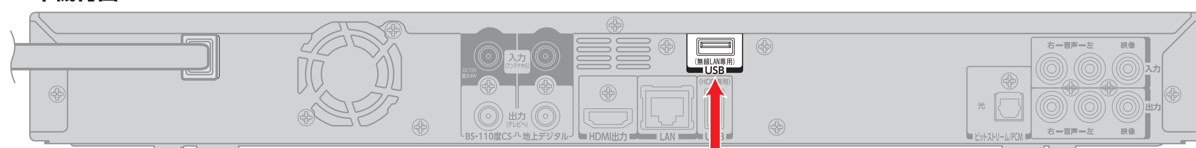
本機とパソコンを LAN ケーブルで直接つなぐとき

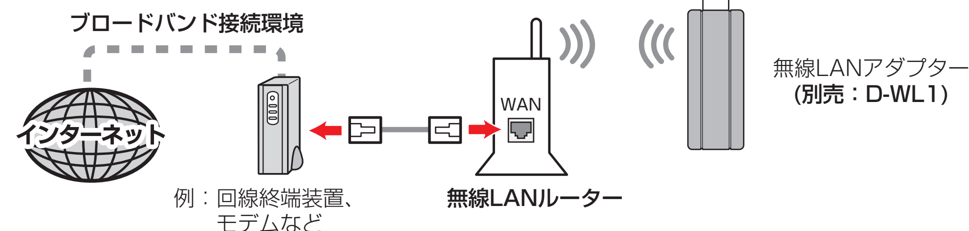


無線LANアダプター（別売）を使って接続する

東芝製無線 LAN アダプターを使うと、LAN ケーブルを使わずにネットワークに接続することができます。

本機背面







● 東芝製無線LANアダプター（別売：D-WL1）以外は使用できません。

接続・設定

ネットワーク接続環境

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は、当社ホームページでご確認ください。**http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/**
- 本機は、公衆無線LAN接続には対応していません。
- パソコンやwwwブラウザの下記以降のバージョンについてお使いいただけるかは、「RDシリーズサポートダイヤル」（裏表紙）にお問い合わせください。

ネット de ナビ機能に必要な動作環境		
パソコン DOS/V 互換パソコンまたは Macintosh コンピュータ（LAN コネクタが必要）（市販品）		
OS：	Windows® 2000 / XP / Vista / 7（日本語版） Mac OS X（10.6）（日本語版） 上記の OS 以外の環境での動作は保証していません。	
	カラーモニター：	16 ビットカラー以上、800 × 600 ドット以上
	必要なデバイス：	LAN ポート（100Base-TX / 10Base-T）
WWW ブラウザ		
Windows® 2000 の場合：	Internet Explorer 6.0	
Windows® XP の場合：	Internet Explorer 6.0/7.0	
Windows® Vista の場合：	Internet Explorer 7.0/8.0	
Windows® 7 の場合：	Internet Explorer 8.0	
Mac OS の場合：	Safari 2.0.3	

上記以降のバージョンについては、すべての動作を保証するものではありません。
ネット de ナビの機能を使うには、PC に Java VM Ver.1.5（Mac OS X は 1.4.2）がインストールされている必要があります。最新の Java Vm を入手するには、米国 Oracle Corporation の http://java.com/ja/ のサイトでご確認ください。
ネット de ナビ機能の「メール予約機能」をご使用になる場合には、以下の環境が必要です。

- インターネット常時接続環境（ブロードバンド接続必須）
- 設置場所からパソコンで送受信可能なeメールアカウント（POPサーバーおよびSMTPサーバーを使用したサービス）
- ハブ機能を持ったブロードバンドルーター（DHCP機能搭載を推奨）
- 無線LAN接続の場合、東芝製無線LANアダプター（別売：D-WL1）と無線LANルーター

用語と商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorerは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® 2000...Microsoft® Windows 2000 Professional operating system Service Pack4（SP4）日本語版
- Windows® XP...Microsoft® Windows® XP operating system日本語版
- Windows® Vista...Microsoft® Vista operating system日本語版
- Windows® 7...Microsoft® Windosw® 7 operating system日本語版
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Macintosh、Mac、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。
- DLNA®およびDLNA CERTIFIED™はDigital Living Network Alliance®の商標です。

ネットワークとつなぐ・つづき

制限事項

- ネットdeナビ機能は、本機をネットワークにつなぎ、本機が動作状態のときにだけ使用できます。(ネットdeナビ機能の電源待機状態でのメール予約確認機能は除く。)
- 「録画予約」を設定した場合を除き、本機能で本体側の電源を「入」にすることはできません。
- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の通信状態、またはネットdeナビ機能で本機とパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信にエラーが発生する場合があります。
- プロバイダ(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください。
- プロバイダ指定の回線接続機器(ADSLモデムなど)に、100Base-TX/10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります。)
- プロバイダによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
- 詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ハブやルーターを利用してブロードバンド常時接続のパソコンと接続する場合は、カテゴリ5 (CAT5)と表示された規格以上のLANケーブル(ストレート)をご使用ください。
- 直接本機とパソコンを接続する場合は、市販のLANケーブル(ストレートまたはクロス)をご使用ください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 利用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。

以下は、ネットdeナビ機能を対象とした制限事項になります。

- 本機とハブやールーターとの接続には別途、市販のLANケーブル(ストレート)をご用意ください。
- 「メール予約機能」をご利用になるには、POP3またはAPOPに対応したご家庭から接続可能なeメールのアカウントが別途必要です。携帯電話などのメールアドレスのように、ご家庭のパソコンからアクセスできないeメールのアカウントはご利用になれません。
- 本機がネットワーク経由でインターネットプロバイダのメールサーバーにアクセスできるよう、常時接続されている必要があります。
- 「メール予約機能」を利用する場合、パソコンの電源を入れておく必要はありません。
- パソコンの設定は、メールのコピーを一定期間メールサーバーに保存する設定にしてください。メールを受信したときサーバーにコピーを残さず自動削除する設定ですと、本機で予約メールを受信できないことがあります。
- 携帯電話からのメール予約には、インターネットメールを使用してください。ショートメールのような携帯電話間だけのメール機能では使用できません。
- ポータルサイトのwebメール(POP3対応していない)はメール予約の設定には使用できません。(録画予約完了通知のアドレスには設定できます。)

免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続にできない場合、当社は一切責任を負いません。
- 火災、自身などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書及び本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告無く一時停止したり、サービス自体が終了される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

すでにブロードバンド環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - 回線業者やプロバイダーとの契約
  - 必要な機器の準備
  - ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。
  ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。
  パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- ADSL回線をご利用の場合は
  - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販）が必要です。
  - USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
  - プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
  - ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
  - ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線業者へお問い合わせください。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合は

プロバイダーおよび回線業者と別途ご契約（有料）する必要があります。詳しくは、プロバイダーまたは回線業者にお問い合わせください。



- **LANケーブルは、カテゴリー 5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。**



- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、スタートメニュー ➡「本体設定」➡「ネットワーク設定」➡「ネットワークステータス表示」画面で確認できます。操作編 91
- パソコンや外出先などから本機を遠隔操作することはできません。

接続・設定

本機を設定する

ネットワークを設定する

ネット de ナビ機能を利用するためには、あらかじめインターネットサービスプロバイダなどとの契約とブロードバンド常時接続の環境に、本機をつなぐことが必要です。

● 本機とパソコンを直接LANケーブルで接続する場合は、インターネットサービスプロバイダの契約は不要です。

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲･▼･◀･▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「ネットワーク設定」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「ネットワーク接続設定」を選び、決定を押す

5 ▲･▼で「有線LAN」または「無線LAN」を選び、決定を押す

LANケーブルで接続しているときは

「有線 LAN」を選び、設定してください。 9

無線LANアダプターで接続しているときは

「無線 LAN」を選び、設定してください。 10

6 ▲･▼で「ネットdeナビ/レグザリンク連携設定」を選び、決定を押す

7 ▲･▼で「LAN（レグザリンク）連携設定」を選び、決定を押す

- 設定方法については、11 をご覧ください。

eメールで録画予約したいときは

手順 7 で「レグザリンクシェア設定」を選び、決定を押してください。

- 設定方法については、11 をご覧ください。

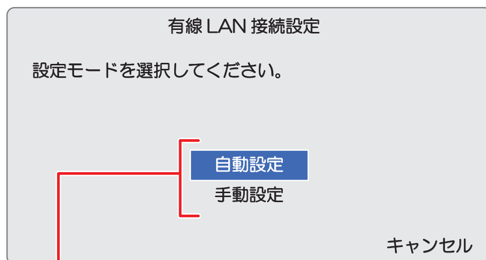


● LANケーブルで接続して「ネットワーク接続設定」の各設定を変更した際は、必ず接続テストを行ってください。

● 「有線LAN」と「無線LAN」を同時に利用することはできません。

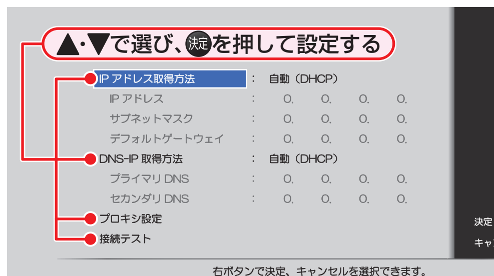
「有線LAN」を設定する

1 ▲・▼で設定方法を選び、決定を押す



自動設定： 「ネットワーク接続設定」の各項目を自動で設定し、接続テストを行います。また、既に設定済みの場合は、全て初期値に戻します。

手動設定： 「手動設定」を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。



IPアドレス取得方法

● ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

自動（DHCP）： IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイをDHCPサーバー機能で自動設定します。

手動： IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイを手動で設定します。（ルーターにDHCP機能がないなどの場合、「手動」を選んでください。）

「手動」を選んだときは

「IPアドレス」と「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力して下さい。

- 「IPアドレス」に関しては、パソコンに設定されているIPアドレスの最後の2桁を、お好みの数値に変更したものを入力してください。（3桁まで入力可能です。）
- 「サブネットマスク」と「デフォルトゲートウェイ」はパソコンと同じ数値を入力してください。

DNS-IP取得方法

● IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

自動（DHCP）： プライマリDNS/セカンダリDNSをDHCPサーバー機能で自動設定します。

手動： プライマリDNS/セカンダリDNSを手動で設定できます。

「手動」を選んだときは

「プライマリDNS」と「セカンダリDNS」を入力してください。

- 「プライマリDNS」はパソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。
- 「セカンダリDNS」はパソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

プロキシ設定

本機をブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシ設定してください。

- 「有効」を選んだあと、「プロキシアドレス」と「ポート番号」を入力してください。



● **プロキシアドレスとは？**
ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーから指定されるアドレスを入力します。（例：proxy_server.ne.jp）

● **プロキシポート番号とは？**
プロキシアドレスと共に、プロバイダーから指定される番号です。（例：8000）

● プロキシ設定はBD-Live™機能で使用します。

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。ネットワークに接続できていないときは、エラーメッセージが表示されますので、画面の指示に従ってネットワークの設定をしなおしてください。

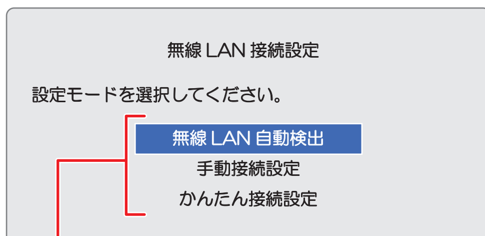
本機を設定する・つづき

「無線LAN」を設定する



- 本機（背面）に接続する無線LANアダプターは、東芝製無線LANアダプター（別売：D-WL1）をお使いください。
- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ情報漏えいのおそれがあります。
- 無線LANネットワークのセキュリティ設定が以下の場合、eメールでの録画予約機能はお使いになれません。
  — セキュリティを設定していない
  — セキュリティレベルが低い（WEP）

1 ▲・▼で設定方法を選び、決定を押す



無線 LAN 自動検出：	本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。
手動接続設定：	「手動接続設定」を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。
かんたん接続設定：	かんたんに無線 LAN を設定します。

無線LAN自動検出

❶ 表示された接続可能な無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選び、決定を押す

❷ セキュリティキーを入力し、決定を押す

- メッセージが表示されるので、「次へ」を選んでください。

❸「IPアドレス」と「DNS-IP」を設定する

- 詳しくは、9 をご覧ください。

手動接続設定

❶ SSIDを入力して、決定を押す

❷ ▲・▼でセキュリティを選び、決定を押す

❸ セキュリティキーを入力し、決定を押す

- メッセージが表示されるので、「次へ」を選んでください。

❹「IPアドレス」と「DNS-IP」を設定する

- 詳しくは、9 をご覧ください。

かんたん接続設定

▲・▼で「プッシュボタン方式（PBC）」または「PIN コード方式」を選び、決定を押してください。

「プッシュボタン方式(PBC)」を選んだときは

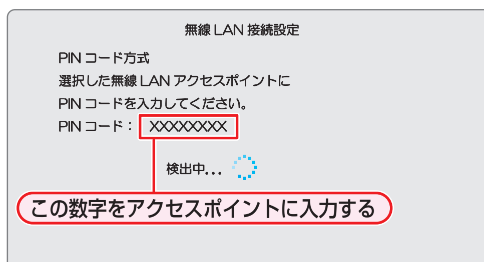
画面の指示に従って、無線 LAN アクセスポイントの所定のボタンを押してください。

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。

「PINコード方式」を選んだときは

❶ 表示された接続可能な無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選び、決定を押す

❷ 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する



- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。



- 周波数が2.4GHzの機器（電子レンジなど）をお使いの場合、無線LANの通信が途切れることがあります。5ＧＨｚに対応した無線ルーターや無線ＬＡＮアクセスポインをお使いの場合は、周波数を5GHzでのご使用をおすすめします。
- 無線LANの通信状態が良くない場合、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。

LAN（レグザリンク）連携設定を設定する

1 ▲･▼で「使用する」を選び、決定を押す

LAN（レグザリンク）連携設定

ネット de ナビ機能やレグザリンク連携機能を
使用するかしないかの設定をします。
「使用する」に設定すると、
「待機設定」が「通常待機」に固定されます。
待機中も各機能が使用する

使用する
使用しない

- 「使用する」に設定すると、「待機設定」が自動的に「通常待機」になります。

レグザリンクシェアを設定する

1 ▲･▼で項目を選び、決定を押す

レグザリンクシェア設定

ユーザー名：	なし
パスワード：	なし
ポート番号：	80

ユーザー名：　端末機器から本機にアクセスするための ID を設定します。

パスワード：　端末機器から本機にアクセスするためのパスワードを設定します。

ポート番号：　通常は設定を変える必要はありません。機能の一部が働かないときに、【2000】～【10000】の間で変更してください。

接続・設定

パソコンを設定する

ネット de ナビを使うパソコン側の設定は、OS の種類によって異なりますので、詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。
以下は、Windows® 7 を例に説明しています。

- eメールで録画予約したいときは、ネットdeナビを設定したあとに、「ネットワーク・メール設定」を設定してください。 13



- ネットdeナビの設定中にブラウザの「戻る」ボタンを押さないでください。「戻る」ボタンを使うと、設定や表示が正しく行われない場合があります。

1 ネットdeナビ対応のブラウザを起動する

2 アドレスに「http://DBR-T360」または「http://DBR-T350」を入力して、パソコンの「ENTER」を押す

- アドレスには、お使いの機種名を入力してください。
- ネットdeナビが起動します。

3 「ネットdeナビ設定」をクリックする

4 「ネットワーク・メール設定」を設定する

- 各項目の内容については、13 をご覧ください。

5 設定が終わったら、「登録」をクリックする

本機とパソコンをLANケーブルで直接接続しているときは

あらかじめ、パソコンで以下の設定をしてください。

❶ **「コントロールパネル」➡「ネットワークとインターネット」➡「ネットワークと共有センター」➡「アダプターの設定の変更」➡「ローカルエリア接続」の「プロパティ」をクリックする**

❷ **「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」をクリックする**

「次のIPアドレスを使う」を選び、IPアドレスとサブネットマスクを設定してください。(すでに値が設定されているときには、設定を戻せるようにその値をメモに残しておくことをおすすめします。)

IPアドレス：
「192.168.1.10」を入力してください。

サブネットマスク：
「255.255.255.0」を入力してください。

❸ **「OK」をクリックする**

ネットワーク・メール設定

メール録画予約機能	メール録画予約機能を使うかどうかを設定します。
メール予約パスワード	予約メールとして判別するためのパスワードを設定します。
POP3 サーバアドレス	ご利用のプロバイダの POP3 サーバーアドレスを設定します。
POP3 ユーザー名	ご利用のプロバイダの POP3 サーバーにアクセスするときのユーザー名を設定します。
POP3 パスワード	ご利用のプロバイダの POP3 サーバーにアクセスするときのパスワードを設定します。
APOP	APOP を使うかどうかを設定します。
電源 ON 時の POP3 アクセス間隔	予約メールをチェックする時間間隔を設定します。（電源 ON 時）
電源 OFF 時の POP3 アクセス時間の分	予約メールをチェックする時間間隔を設定します。（電源 OFF 時）
メール録画予約時アドレスフィルタリング	予約メールのフィルタリングをするかしないかを設定します。
フィルタアドレス	フィルタリングで受け付ける予約メールのアドレスを設定します。
メール通知機能	メール録画予約が完了したときの通知方法を設定します。
失敗しそうな予約の通知	録画に失敗しそうな予約をメールで知らせるかどうかを設定します。（本機能は目安です。失敗しそうな予約全てをお知らせするものではありません。）
おまかせ自動予約の通知	「おまかせ自動録画」の録画予約をメールで知らせるかどうかを設定します。
SMTP サーバ アドレス	SMTP サーバーのアドレスを設定します。
SMTP サーバ ポート番号	SMTP サーバーのポート番号を設定します。
SMTP サーバ認証	SMTP サーバーの認証方法を設定します。
SMTP ユーザー名	SMTP サーバーのユーザー名を設定します。
SMTP パスワード	SMTP サーバーのパスワードを設定します。
メールアドレス	プロバイダのメールサービスのメールアドレスを設定します。
メール通知用の指定アドレス	メール録画予約の完了をお知らせするメールアドレスを設定します。

その他の設定

MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。



- ご利用のプロバイダによっては、メール予約ができない場合があります。
- ルーターによっては、DHCPによって割り振られるIPアドレスが頻繁に変わる場合があります。
- プロキシが設定されていると、アクセスできない場合があります。
- 本体側が動作中のときは、ネットdeナビが操作できても設定できない場合があります。

ネット de ナビを起動する

1 パソコンで、ネットdeナビ対応のブラウザを起動する

2 アドレスに「http://DBR-T360」または「http://DBR-T350」を入力して、パソコンの「ENTER」を押す

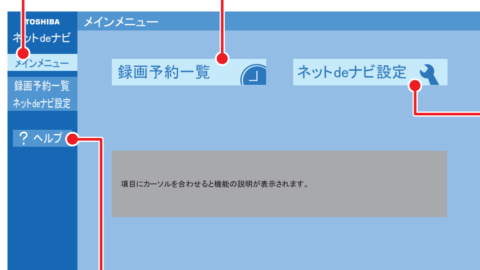
- アドレスには、お使いの機種名を入力してください。
- ネットdeナビが起動します。

メインメニューについて

● メニューから項目を選んで、さまざまな機能を使うことができます。

メインメニューに戻ります。

録画の予約、変更、確認をすることができます。

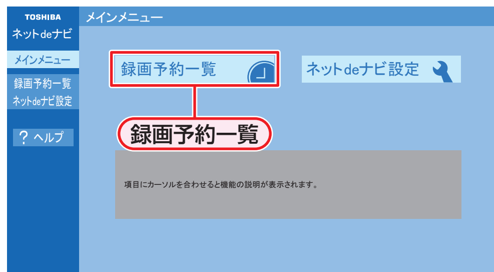


メール予約などの設定をします。

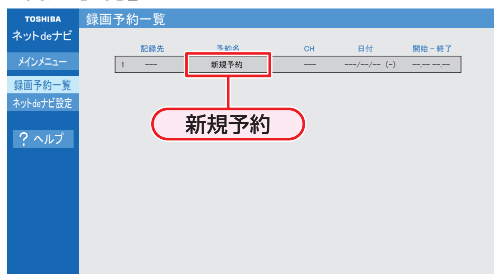
ヘルプ画面が表示されます。

パソコンを使って録画予約する

1 「録画予約一覧」をクリックする



2 「新規予約」をクリックする



録画予約を確認するには

登録済みの録画予約が表示されますので、ご確認ください。

録画予約を変更するには

変更したい録画予約をクリックしてください。

3 各項目をクリックして、録画予約の詳細を設定する

- 各項目については、右記をご覧ください。
- 設定または変更できる項目は、録画予約の設定により異なります。

4 「登録」をクリックする



録画予約の設定項目

設定または変更できる項目は、録画予約の設定により異なります。

予約名： 予約名を設定します。
CH： 放送の種別を設定します。
チャンネル番号： チャンネル番号を設定します。
日付： 日付を設定します。
曜日： 毎週 / 毎日予約を設定します。
時間： 録画予約の開始時刻と終了時刻を設定します。
記録先： 録画先のメディアを設定します。
品質： 録画モードを設定します。
録画モード： 画質レートを設定します。（「品質」の設定によって、選べる画質レートは異なります。）
DR： 設定できません。
AVC： AF～AE、AT 4.7 GB～AT 50 GB
VR： XP～EP、AT 4.7 GB
映像選択： 映像を設定します。
音声選択： 音声を設定します。



- ネットdeナビでは、「持ち出し用録画」を設定することはできません。

e メールで録画予約する

1 eメールの送信先(To：)を入力する

- 「ネットワーク・メール設定」13で設定した「メールアドレス」を入力してください。

2 eメールの本文に、録画予約の内容を入力する

open password prog add 20121219 1900 2000 D011-1 DR H1 EY

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

- 文字は全て半角で入力してください。また、それぞれの項目の間には、半角スペースを1つずつ入力してください。
- お使いのメールソフトウェアや携帯電話に、録画予約メールの定型文を登録しておくと便利です。

① open

予約メールの先頭に入れてください。

② メール予約パスワード

「ネットワーク・メール設定」13で設定したパスワードを入力してください。

③ 固定文字

「prog」と入力してください。

④ 本機の操作

予約登録： add
予約削除： del
予約確認： list
残量確認： remain

⑤ 録画日

西暦４けた（年） 01 ～ 12（月） 01 ～ 31（日）

⑥ 録画開始時刻(時)(分)

00 ～ 23（時） 00 ～ 59（分）

⑦ 録画終了時刻(時)(分)

00 ～ 23（時） 00 ～ 59（分）

⑧ 録画チャンネル

地上デジタル： DXXX-X
BS デジタル： BSXXX
CS デジタル： CSXXX
外部入力： L1

- 「XXX」はチャンネル番号です。地上デジタルの「-X」は枝番号です。枝番号があるときは、枝番号まで正しく指定してください。枝番号を指定しないと、意図しない放送が予約されることがあります。

⑨ 録画モード

録画モードを入力してください。
DR / AF / AN / AS / AL / AE / XP / SP / LP / EP

⑩ 録画先

内蔵 HDD： H1
USB-HDD： U1 ～ U8
ブルーレイディスク： B1

⑪ 予約方法

番組表予約： EY
時刻指定予約： EN

3 eメールを送信する



- アルファベットは大文字、小文字のどちらも使えます。
- 改行して2行目に予約名を入れることができます。
- お使いのメールソフトウェアによっては、１行目が長いと改行されてしまい、予約内容が正しく認識されないことがあります。

予約メールの受信

本機が電源「入」状態では、設定された時間の間隔で、POP サーバから予約メールを受信します。本機が電源待機状態では、1 日 8 回（2 時、5 時、8 時、11 時、14 時、17 時、20 時、23 時の「ネット de ナビ設定 - 電源 OFF 時の POP3 アクセス時間の分」で設定された「分」）に予約メールを受信します。

録画予約完了メール

本機が予約メールを受信すると、録画予約の完了または録画予約の失敗の通知をメールで受信できます。以下の設定をしてください。 13

- 「メール通知機能」を「指定アドレスと送信元アドレスへ通知」、「送信元アドレスへ通知」または「指定アドレスへ通知」に設定する。
- 「メール通知機能」を「指定アドレスと送信元アドレスへ通知」または「指定アドレスへ通知」に設定した場合は、「メール通知用の指定アドレス」に録画予約完了メールを受け取るメールアドレスを入力する。

録画予約ができたときは

件名＜ SUBJECT ＞：
○○○からのお知らせ
本文＜ BODY ＞：
メール予約を行いました。
◆ユーザー予約◆
録画日：　2012/12/19
録画開始時刻：　19：00
録画終了時刻：　20：00
チャンネル：　011-1
mailto：　メールアドレス（ネット de ナビ設定で設定したメールアドレス）？ subject ＝件名（○○○の予約を削除します。）＆ body ＝ open %20 パスワード（ネット de ナビ設定で設定したパスワード）%20 prog&20del%20 予約 ID（予約した ID）

- 「○○○」には、本機の機種名が入ります。
- mailtoとは、mailtoを選んで決定すると、かんたんに予約を削除するメールが作成できます。ただし、mailto機能に対応した携帯電話またはメールソフトであることが必要です。

録画予約に失敗したときは

録画予約ができなかった理由が通知されます。



- 以下のような本体側でエラーが発生しているときは、録画予約ができません。
  - 録画開始時刻が予約メールの受信時刻から15分以降でないとき
  - 録画終了時刻が予約メールの受信時刻から15分以降で、録画開始時刻から9時間以内（録画モード「DR」または「AF ～ AE」の場合は23時間59分以内）でないとき
- 本体側でナビ画面などを表示中は、メールの送受信ができません。

eメールで録画予約の設定を確認する

e メールの本文を以下のように入力すると、録画予約の設定を確認することができます。

open password prog list l d e5

- l：表示レイアウト（ロング）
- d：詳細
- e5：予約数



- 末尾の「表示レイアウト」と「詳細」、「予約数」は省略することができます。
- 「l」（エル）を入力した場合は、1行表示が長く表示され、省略すると改行された短いリストが表示されます。
- 「d」を入力した場合は、「録画予約」の詳細が表示され、省略すると簡略されたリストが表示されます。
- 「e」を入力した場合は、「e」に続けて数値を入力することで、1回のメールで受信可能な予約（録画情報）数を指定できます。指定可能な数値は1～9です。ただし、情報量が多いときには、指定された数値より少ない予約数しか得られないと場合があります。

eメールで残量を確認する

e メールの本文を以下のように入力すると、内蔵 HDD の残量を確認することができます。

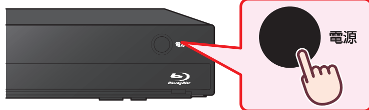
open password prog remain

- remain：残量

商品のお問い合わせに関して

リモコンでも本機のボタンでも操作できなくなったときは、以下の操作をしてみてください

1. 本機の ●電源 を8秒間以上押し続けて、電源を切る



2. 電源プラグを電源コンセントから抜き、数秒間待つ
3. 電源プラグを電源コンセントに差し込む
4. 電源を入れて、動作を確認する

※この操作をしても正常に動作しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、修理をご依頼ください。

基本的な取扱方法や故障と思われる場合のご確認

東芝ブルーレイ / DVD < レグザ > お客様サポートページをご覧ください
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

『東芝 DVD インフォメーションセンター』
0120-96-3755

※間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。
※フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません

受付時間：365 日　9:00 ～ 20:00

携帯電話からのご利用は	ナビダイヤル（通話料：有料）	0570-00-3755
PHS や IP 電話からのご利用は	（通話料：有料）	03-6830-1855
FAX	（有料）	03-3258-0470

本機に関する編集やネットワークなどの高度な取扱方法

『RD シリーズサポートダイヤル』
0570-00-0233　ナビダイヤル（通話料：有料）　受付時間：365 日　9:00 ～ 18:00

※PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります

- 「東芝 DVD インフォメーションセンター」「RD シリーズサポートダイヤル」は株式会社東芝　デジタルプロダクツ & サービス社が運営しております。
- お客様の個人情報は、「東芝個人情報保護方針」に従い適切な保護を実施しています。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。



愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検をぜひ！　熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？		ご使用中止	
	• 再生しても音や映像が出ない。 • 煙が出たり、異常なにおいや音がする。 • 水や異物がはいった。 • ディスクが傷ついたり、取り出しができない。 • 電源コード、プラグが異常に熱くなる。 • その他の異常や故障がある。		このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

EAK61JD / EAK60JD

株式会社東芝
デジタルプロダクツ & サービス社
〒 105 － 8001　東京都港区芝浦 1 － 1 － 1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。